

# 変あるキャンパス

安全・安心・快適を求めて、よりよい教育と研究活動を展開するため、安全かつ機能的な施設の整備が進められている長大キャンパス。改修によって生まれた文教キャンパスの新しい表情、快適な空間、そして新築したばかりの医学部・歯学部附属病院をご紹介します。

## 改修編・新築編

### 改修編

## 文教キャンパス

現在、主に教育学部・工学部・水産学部において、老朽施設の再生と耐震性能の確保に重点を置いた改修が進められています。



教育学部

### 教育学部の建物

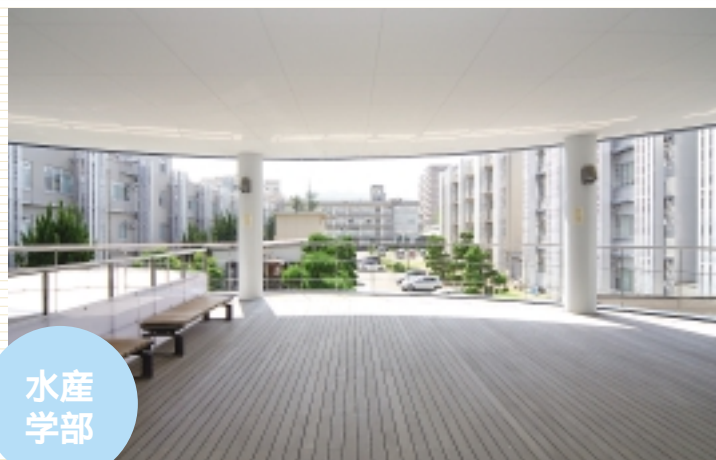
新たに耐震補強を施した外観。周囲の緑と調和するデザインで、温もりのあるイメージを演出しています。また、省エネルギー対策として窓には全面断熱効果の高い複層ガラスを採用しています。



工学部

### 工学部のテクニカルシャフト

建物外観の縦のラインを強調し、工学部らしい先進性をイメージしたデザインのテクニカルシャフト。外部に設置した配管やダクトなどを覆っている。これにより、屋内用途に影響されず、外部に機能的な設備インフラを構築できます。この他にも建物全体に将来的な用途や機能の変更に対応できるような工夫がされています。



水産学部

### 水産学部のリフレッシュコーナー

ウッドデッキが心地良い開放感あふれるスペース。こののんびりとランチタイムを過ごす学生も多いようです。

### 校舎改修のコンセプト

- 1 安全性の確保  
耐震設計やシックハウス対策など
- 2 機能性の向上  
高性能・高機能の材料や設備の採用
- 3 経済性の追求  
使用材料の見直しなどでコストを削減
- 4 フレキシビリティの確保  
将来的な用途や機能の変更に対応
- 5 環境への配慮  
省エネ設計、再生資材や自然エネルギーの利用
- 6 ユニバーサルデザイン  
全ての人のためのデザイン
- 7 学部らしいデザイン  
学部の個性を外観デザインや仕様などで表現



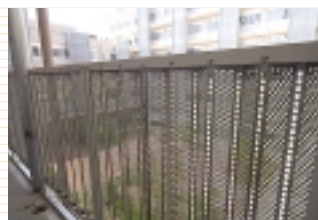
### リフレッシュルーム

友達との会話を楽しんだり、ちよつと息入れたい時は、各フロアに設けられたリフレッシュルームへ。利用者がゆつくりくつろげるようにドアや壁に適度な目隠し効果を施したタイプや気軽に利用できるオープンタイプなど、フロアや学部ごとに個性があります。また、ミニキッチンも備えられ、何かと便利になりました。



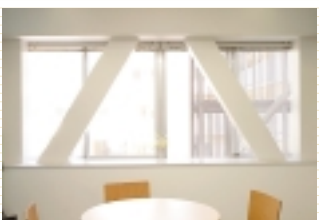
### 手すり

ベランダ通路に設けられたパンチングメタルの手すり。風通しや強度のことを考慮した素材です。



### 鉄骨ブレース

窓に、太く「ハ」の字に入った耐震補強の鉄骨ブレース。もし地震などで大きな力が建物に加わっても、この鉄骨がその力に抵抗して、建物を守ります。



### パウダールーム

食後の歯磨きや身だしなみを整えるときに利用します。



### 色彩効果

教授室や実験室のドアの色を統一して、見た目もふ引き。工学部はイエロー、水産学部はブルーで統一しています。



### 出入口階段、エレベーター

車椅子の方も利用しやすいエレベーターや出入口のストロップ。視覚障害がある方でも判別しやすい色彩による階段口のサインなど、より多くの人にやさしい使い勝手を工夫しています。



### トイレ

余計なドアを設けず、視線をさえぎる工夫ですっきりと快適な空間になりました。身体の不自由な方も利用しやすいトイレも完備しています。





新築編

# 医学部・歯学部附属病院の 新病棟・診療棟

去る6月4日、3年の工期を経て開院。新時代の大学病院にふさわしい医療を提供できる高品質・高機能の建物です。今回、そのごく一部をご紹介します。



## 新病棟・診療棟(南西面)

『最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する』という同附属病院の基本理念の実現をめざして整備された新病棟・診療棟。地域の災害拠点病院として救急医療に対応した施設も充実しています。

### 整備方針

- 1 病室の環境改善**  
6床室から4床室へ改善し快適な療養環境を実現
- 2 ゆとりある看護の体制**  
よりきめ細やかな看護サービスを提供
- 3 アメニティの確保**  
食事ができる食堂・談話室や屋上庭園など、憩いのスペースの充実
- 4 診療動線の明確化**  
病院スタッフと患者・訪問客との動線を分け、院内の混雑を解消
- 5 臓器別のフロア構成**  
機能的・効果的な医療の実践
- 6 臨床研修スペースの確保**  
医療現場にて実践的な教育を実現



### 病室

プライベートに配慮した快適な療養環境です。窓は、壁の高い位置から低い位置まで広く設けられ、ベッドで横になうたまま外の景色を眺めることができます。

### 眺望

病室(南側)からも、稲佐山から女神大橋まで市街地を一望。美しい長崎の景色をいつでも楽しむことができます。



### 外来ラウンジ

(吹き抜けの通路・1階)

正面玄関から続く外来ラウンジ(吹き抜けの通路)は、開放感あふれるガラス張り。エスカレーターが3階まで続き移動がスムーズになりました。

### 展望ラウンジ(14階)

最上階からのすばらしい展望は、長崎の新しいビュースポットともいえるほど。屋上庭園もあり、憩いのスペースが充実しています。



### 店舗等(1階)

コンビニエンスストア、フรายーショップ、ケーキショップ、銀行ATMなど便利な施設が揃っています。



### 新病棟・診療棟の概要

構造: 4階以下は鉄骨鉄筋コンクリート造、5階以上は鉄骨造、制震構造  
階数: 地下1階、地上14階、塔屋1階  
建築面積: 3,920m<sup>2</sup> 延床面積: 43,810m<sup>2</sup>